管機連Daily News

2026年11月4日（水）

≪ 今日の主なニュース ≫

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆4～9月税収23.7兆円、12%上振れ ペース続けば26年度は90兆円に

・財務省は4～9月の国の一般会計税収が前年同期比12.2%増の23兆7813億円だったと発表。足元の伸びが維持されれば、年間の税収が初めて90兆円台に乗るとの民間試算。赤字国債の発行額を抑制する余地も生まれてくる。2025年度の税収実績は84兆2226億円。90兆円に達するには前年度比6.8%の増収が必要。税収はこれを上回るペースで推移。

◆国民医療費、24年度1.5%増の48.8兆円 75歳以上の比率が4割超え

・厚生労働省は2024年度の国民医療費が前年度比1.5%増の48兆8100億円だったと発表。病気やけがの治療で医療機関に支払った費用の総額を示す。4年連続で過去最高。このうち75歳以上の後期高齢者の医療費が20兆1117億円で41.2%を占めた。比率は初めて4割を超えた。1人あたりの医療費は39万4300円で2.0%増えた。

◆都内の実勢家賃、内閣府が新指標開発 「募集」額で変化素早く把握

・内閣府は募集家賃の実勢値がわかる新たな指数を開発。民間のデータを専門的な手法で分析。入居者募集中の賃貸住宅が対象で、既に入居中の物件を調べる方法に比べて足元の価格変動を捉えやすい。より実態に即した家賃を把握し、景気分析に生かす。物件の間取りや広さ別にファミリー向けや単身向けといった区分を設けて指数を出す。

≪ 業界ニュース ≫

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆パナソニック、新基準に対応のエアコン拡充 3万～5万円値上げも

・パナソニックはルームエアコン「エオリア」の新製品を発表。2027年4月から厳格になる新たな省エネ基準に対応した機種を拡充。新製品から基準に対応したシリーズでは3万～5万円の値上げを想定。新たに発売する6シリーズのうち、3シリーズで今回初めて新基準に対応。一部機種を除いて、ほとんどの製品が新基準対応となる。

◆フラット35の11月金利、3.81% 4カ月ぶり下落

・住宅金融支援機構は11月の「フラット35」の金利を発表。借入期間が21年以上で購入価格に対する融資率が9割以下の場合、最低金利は3.81%。10月から0.02ポイント下がり、7月以来4カ月ぶりに前月比で低下。3%を超えたのは6カ月連続で、2017年10月に現行制度になって以来の高水準で推移している。

◆カスハラ被害、建設業は13.6% 元請対応に苦慮する声も TDB調べ

・帝国データバンクが公表した「カスタマーハラスメントに関する企業の実態調査」（2026年9月調査）結果によると、直近1年以内にカスタマーハラスメントや不当な要求などを受けたことがある企業は15.3%。業界別では、最多は「小売業」の31.1%で、「建設業」は13.6%、「不動産」は21.4%。顧客とするBtoC型の業界で高い傾向がみられる。

≪ 注目商品 ≫

■永大産業、コンパクト収納に新アイテムを追加

・コンパクト収納に水回りの収納性や衛生面に対応する3つの新アイテムを追加。ドライヤーやヘアアイロンを収納できる「ヘアケアボックス」「タオルボックス」は扉を開けずに下部からタオルを取り出せる設計で、濡れた手でも使いやすい。「手洗いカウンター」は、奥行200ミリのコンパクト設計。



■ノダ、HBW使用の狭小耐力壁キット

・真壁両面貼りの455ミリ幅仕様で狭小壁に対応する「HBW（構造用ハイベストウッド）」を使用した面材と縦・横の面材受材などをセット。柱と柱の間に面材を設置する真壁両面貼り仕様で許容せん断耐力14.22kN/m、壁倍率7倍相当で許容応力度計算に対応できる評定書を取得。



■エクソル、テスラ製「パワーウォール3」の販売を開始

・エクソルはテスラの住宅用ハイブリッド型蓄電池「Powerwall3」の取り扱いを開始。パワーコンディショナ内蔵のシンプルなシステム構成と、13.5kWhの蓄電容量、最大9.69kWの高出力が特徴。太陽光発電システムと組み合わせることで、停電時に宅内に電力を供給。

